

日本の石橋を守る会 会長 橋本 幸一 事務局 〒869-4302 熊本県八代市東陽町北 98-2 八代市東陽石匠館内
TEL.0965-65-2700 メール koho@ishibashi-mamorukai.jp ホームページ <http://www.ishibashi-mamorukai.jp>

虹潤橋が架設 200 年

大分県の国指定重要文化財「虹潤橋(こうかんきょう)」が今年、架設 200 年を迎えました。豊後大野市と臼杵市の市境を流れる三重川(大野川水系)に架かる単アーチ石橋で、橋長 31m、橋幅 6.1m、径間 25.1m。1824(文政7)年の創建当時はこの橋の径間より大きなアーチ橋はまだなかったことから、文化財指定(1999年)の理由として、「小規模にとどまっていた石橋架設の技術的限界を脱したもの」「石造大アー

(次面に続く)



1824(文政7)年に架設された大分県の虹潤橋。橋長31m、橋幅6.1m、国指定重要文化財

チ橋の原点に位置づけられる」と評価されています。

今年2月には、おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会主催の「虹潤橋200年・出合橋100年トークイベント」が開催され、石橋の価値や今後の活用法などについて意見が交わされました。奥岳川(大野川水系)に架かる単アーチ石橋「出合橋」(1924年架設)の径間は29.3mと日本で2番目。径間長日本一は、同橋のすぐ上流に架かる2連アーチ石橋「轟橋(とどろきばし)」(1934年架設)で、右岸側32.1m・左岸側26.2m。豊後大野市には全国の市町村で最多112の石橋があるとされ、大型の石橋を見て回ることができます。(広報部)

写真提供/中村まさあき



豊後大野
ジオパーク



豊後大野市 HP
トークイベント



虹潤橋
文化財オンライン

架設 100 年を迎えた出合橋



1924(大正13)年架設の出合橋。径間29.3mは日本で2番目の大きさ。橋長32.2m、橋幅3.9m、市指定有形文化財

下町橋 伝統工法で補修・補強完了



補修が終わった下町橋。1906年架設、橋長17.5m、橋幅3.25m、町指定有形文化財

写真提供/中村まさあき

熊本県球磨郡湯前町の下町橋(1906年架設)の補修工事が今年7月に終わり、開通式が行われました。同橋は経年劣化に加え、球磨川水系が氾濫した2020年の豪雨によるダメージを受けたため、路面を通行止めにして調査・補修工事が行われました。

補修では壁石を一度解体して積み直し、文化財としての価値を損なわないよう、創建時の工法を用いて耐久性を高める対策が施されました。壁石には奥に長い新材を「締め石」として適所に配置、壁石にかかる土圧の減少を図るため中詰め土砂を除去して割り石のみにするなど。路面脇のガードレールは撤去され、古写真を基に石の高欄が復元されました。(広報部)



下町橋
祝・開通式



下町橋
補修工事記録

熊本市で第 45 回大会を開催



1875(明治8)年架設の明八橋。径間 21.4m、橋幅 7.2m。幅員が広く扁平なアーチが特徴。石工頭は種山石工・橋本勘五郎。高欄は創建時のものではないが、石橋本体は 1889 年と 2016 年の 2 度の大地震に耐え、現存している



NHK アーカイブス
地域/明八橋

第 45 回大会が今年 5 月 18・19 日の 2 日間、熊本市で開催されました。

1 日目は熊本城そばの熊本市国際交流会館で総会や記念講演が行われました。旧城下町の街並みを生かしたまちづくりに取り組む「一新まちづくりの会」(橋本和彦会長) 顧問の毛利秀士氏が「石橋を活かしたまちづくり」と題して講演。続いて、山都町の「通潤橋」と「通潤用水」の受益者である下田美鈴氏(会員)が「国宝通潤橋」と題して講演しました。

旧城下町地区には、熊本城の内堀の役割を果たした坪井川にアーチ石橋「明八橋」「明十橋」が現存しています。軸丸英顕事務局長が両橋の情報提供を行った後、一新まちづくりの会の皆さんの案内で徒歩

(次面に続く)

で現地を訪れ、その後は会場そばのレストランで夕食を兼ねた意見交換会を行いました。

2 日目は貸し切りバスに乗って熊本県中央部のアーチ石橋を巡りました。御船町では旧日向往還(熊本城下一日向・延岡城下)に現存する石橋「門前川橋」と、明治期に橋本勘五郎・弥熊親子が架けた「下鶴橋」を見学。続いて、今年 2 月に供用が始まった九州中央自動車道の山都通潤橋にそばの道の駅通潤橋、山都町の「通潤橋」を訪れ、通潤橋史料館で石山信次郎館長の説明を聞きました。最後に江戸時代のアーチ石橋としては最大径間長(28.4m)を誇る国指定重要文化財「霊台橋」(美里町)に寄りました。ガイド役は八代市石匠館館長の上塚寿朗氏が務めました。(広報部) 写真提供/中村まさあき



第45回大会の記念講演会の様子



美里町の霊台橋。1847年架設、国指定重要文化財

通潤用水の維持や棚田の保全、まちづくりへの貢献を表彰



下田美鈴氏
(大会の記念写真より)

大会の記念講演に登壇した下田美鈴氏が今年 7 月、熊本日日新聞社が地域発展などに貢献した個人や団体を表彰する第 74 回熊日賞を受賞。下田氏は 40 年にわたり有機農業を実践する傍ら、町立図書館設立や通潤用水の維持に貢献しました。「活動は壁にぶち当たることが頻繁ですが、仲間を支えられながら頑張っています」と受賞の感想を述べました。(広報部)



山都町棚田復興
プロジェクト
Facebook

会員専用ネット掲示板を活用して情報提供・交流を!

森川孝一【熊本】 交流サイト「チームルーム」のサービス終了に伴い、今年 3 月から会員専用ネット掲示板の運用を始めました。石橋に関する情報発信や会員相互の交流に活用してください。なお利用にはメールでの申請が必要です。本会ウェブサイト「守る会の掲示板」をクリック、「メールでの利用申請はこちらから」をクリックし、(1) お名前(実名)と(2) 連絡可能な電話番号を入力し、メールを「送信」してください。スマホで右の 2 次元バーコードをスキャンすれば、ウェブサイトの利用申請ページにアクセスできます。



会員専用掲示板
利用申請